



## 成人式

自覚をもって快活な行動を

554人がおとなの仲間入り

一人の社会人として、広い舞台への出発——  
成人の日の1月15日、市民体育館で「南国市成人式」が行われました。

この日、市内で“おとな”の仲間入りをした新成人は554人。式典には約400人の新成人が出席しました。

小笠原市長ら来賓からの祝辞、激励に答えて、新成人を代表して岡田直人さん（国分）が「これからは社会人として、りっぱな行動をしていきます。」と抱負を述べました。このあと、振りそでや背広姿の新成人が市長、議長らと一緒におもちゃつき、新しい門出を祝いました。また、会場入口での“はたちの献血、では約50人の新成人が献血、意義ある一日となりました。



## 消防「出初式」

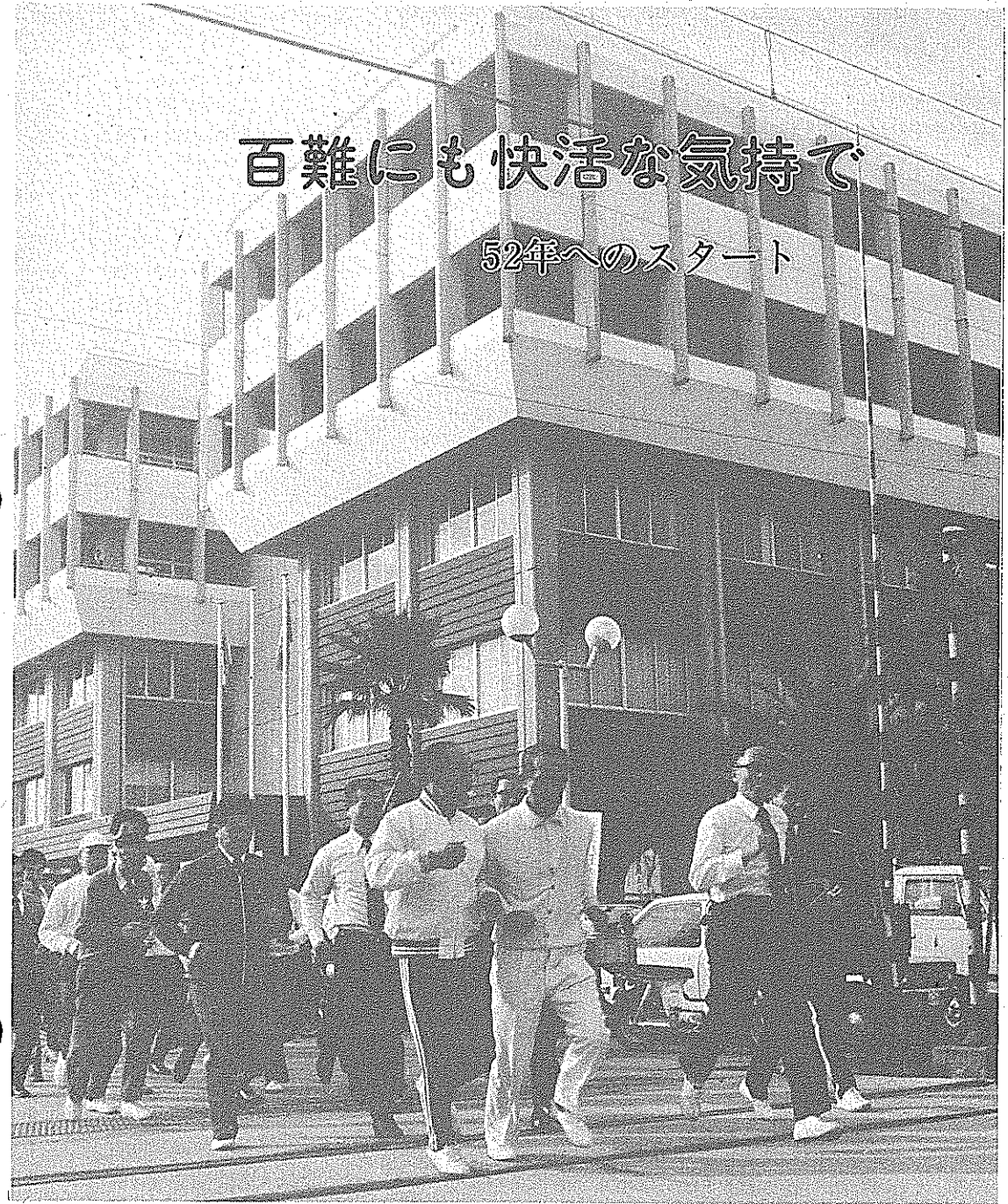
市消防団（福川藤茂団長）の出初式は、一月六日、北陵中学校で行われました。

当日は市消防署、消防団十二分団から二百人あまりの団員が参加し、服装の点検、器具装備の点検や岡豊分団と市消防本部による模擬操法を披露して式典を終わりました。

なお、八幡でボヤが発生し、地元の岡豊分団が消火に出動するなどのハプニングがありました。

## 百難にも快活な気持で

52年へのスタート



今年も五十一年のスタートとして、一月四日、体育はじめの「走り初め」が行われた。恒例の行事となった「走り初め」には、小笠原市長ら市三役のほか、多数の市職員、浜田（一）市議会議長、大森小学校生徒、香長・葛ヶ池中学校生徒やスポーツ関係者、一般市民ら加わり、大規模な参加になった。九時半に市役所前から出発した一行は、日吉神社に「今年一年の無事」を祈願し、新春の後免の町をかけ声元気に走った。今年のスローガンは、「百難にも快活な気持で」ということで、小笠原市長は市職員を前に、次のような年頭の挨拶をした。「今年も南国市には百難と申しますが、いろんな困難が待ちかまえておられると思います。が、快活でやっつけていただきたい。明朗快活とか、光風霽月（こおふうせいげつ）とかいう言葉がありますように明るくやっつけていただきたいのであります。」

どんな困難なことがありましても、不愉快なことがありましても、明るく快活な気持で取りくんでいきましょう。」

四方四千市民のための市民サービスに努めよう、という決意がうたわれ、五十一年の南国市政のスタートがけられた。